

三瓶町誌 下巻 目次

第二編 歴史

第一章 先史時代

第一節 旧石器時代 三

第二節 縄文・弥生時代 三

一 町内の石器や土器 三

第三節 三瓶町に見る大昔の海岸 七

1 下泊 2 岐江 3 蔿賀 4 周木 5 一及 6 垣生 7 朝立・安土

第二章 古代

第一節 藤原純友の乱 一三

第三章 中世

第一節 字和郡所領の変遷 一六

第二節 西園寺氏の直支配 一四

第三節 西園寺旗下の部将たち	一七
第四節 大友軍の来襲	二六
第五節 秀吉の四国統一	三九
第四章 近 世	
第一節 藩体制の発足	四一
第一節 宇和島藩・吉田藩の成立	四五
第三節 領内区画と支配組織	四八
一 領内区画	四八
二 支配組織	五〇
1 庄屋の役目 2 庄屋の特権 3 町内の庄屋 4 村の自治のしくみ	
第四節 巡見使	
一 西海巡見使	八七
第五節 田畠の開発と埋立て	九六
1 藩の政策 2 人口增加とその対策 3 渔村経済の新しい転換 4 下泊	
葛賀村の田畠造成実態 5 安土浦の埋立て	
第六節 渔業の動向	一五
第七節 貢 稟	
1 支配組織 2 網・網代・船 3 網と税 4 新網の成立と發展 5 新漁法の発達 6 魚の公定価格 7 生産物納	
一本途物成	一五九
二 小 物 成	一六三
三 高 掛 物	一八六
四 文化十四年下札帳	一八八
1 字和郡 周木浦・二及浦・垣生浦 2 宇和郡 朝立浦 3 朝立浦 源七下札	
4 山田郷之内 葛賀浦 5 岩野郷之内 岐江浦	
第八節 農地制度	一三七
第九節 農 作 物	一四四
一 親民鑑月集附四季作物種子取事	一四四
二 稲と大豆の品種	一五四
三 さつま諸栽培	一五五
第十節 宇和島、吉田両藩の勧業	一五七
一 植蠣に関する件	一五七
二 寒天製造に関する件	一五八

三 人參培養に關する件	一五九		
四 茶に關する件	一五九		
五 陶器に關する件	一五九		
六 農作物の奨励	一六一		
第十一節 災 害	一六三		
一 地 震(津浪・高潮)等	一六三		
二 風 水 害(虫害も含む)	一六五		
三 疫 病	一七四		
四 災害対策	一七八		
第十二節 安土浦の發展	一八一		
一 人口增加	一八一		
二 船とさつまじも	一八四		
第十三節 交通運輸	一九一		
一 陸上交通	一九一		
二 海上交通	一九五		
1 蕃の御船	2 出入りの船	3 港としての津布理	
第十四節 農民の生活	三一四		
一 飲えとのたたかい	三一四		
二 衣類の制限	三一五		
三 宗教の制限	三一六		
四 住居の制限	三一七		
五 その他の制限	三一八		
六 ほう賞制度	三一九		
七 高札と庶民生活	三二〇		
八 生活制限の歴史(宇和島藩)	三二一		
九 貸 金 定	三四八		
第十五節 そ の 他	三五〇		
一 伊能忠敬の測量	三五〇		
二 境界争い	三五六		
1 岩江浦と下泊浦	2 蔡貫村境目論争		
三 百姓一揆	三六八		
1 下泊騒動	2 吉田騒動(武左衛門一揆)		
四 雜(貢、その他)			
第五章 近 代	三八一		

第一編 明治維新と字和島藩、吉田藩	三八一
第二節 廃藩置県と村の成立	三八七
一 新県制の動き	三八七
1 藩知事の仕事	
二 字和島県区画と町村分合	三九〇
三 茅川騒動	三九九
四 行政要項と村役心得	四〇三
第三節 神山県	四〇七
一 神山県区画	四〇九
二 神山県政	四一一
第四節 明治初年の混亂	四一四
一 戸籍調査	四一四
二 不正の糾弾	四一六
第五節 愛媛県の誕生	四一八
一 行政区画	四一八
二 愛媛県大小区制度(明治七年五月廿日布達)	四一〇
三 岩村県政	四一四
四 郡区町村編成法	四一七
五 村・浦の自治	四二八
第六節 地租改正	四二三
一 土地調査	四二三
二 土地紛争	四三六
1 無役地事件 2 荒田事件	四五一
第七節 自由民権運動	四五一
一 県内の動向	四五一
二 建白書進達の件	四五四
第一章 民俗行事	四六七
第一節 衣・食・住	四六七
一 衣	四六八
二 食	四七〇
三 住	四七二
第二節 年中行事	四七四

第四編 文化遺産

第一章 民俗行事	四六七
第一節 衣・食・住	四六七
一 衣	四六八
二 食	四七〇
三 住	四七二
第二節 年中行事	四七四

一 正月行事	四七五						
二 春の行事	四七七						
三 夏の行事	四七九						
四 秋・冬の行事	四八二						
第三節 冠婚葬祭・祝賀の宴	四八四						
一 妊娠・出産・育児	四八四						
二 成年式	四八五						
三 「若い衆宿」	四八六						
四 婚礼	四八八						
五 年祝い	四九〇						
六 葬儀	四九一						
第四節 民族芸能・遊戯	四九四						
一 芸能	四九四						
1 朝日文楽	2 神楽	3 郷土の祭り(ねり)	4 念仏踊り	5 お伊勢踊り	6 盆踊り	7 鹿踊り	8 消滅した行事
二 遊戯	五一一						
三 童戯	五一四						
1 口遊び	2 軒遊び	3 外遊び・辻遊び					
第五節 口頭伝承	五二一						
一 伝説	五二一						
1 町名・地名由来の伝説	2 お姫様の話	3 龍と蛇の話	4 エンコの話				
二 民話	五四四						
1 神社とお寺の話	2 優物の話	3 嫉しい心の人の話	4 愉快な話・楽しい話				
5 あわれな話	6 こわい話	7 たぬきの話	8 ほんとうにあった話				
9 きれいな話・ときたない話							
三 民謡	五七九						
1 信仰の歌	2 相撲甚句歌	3 作業歌	4 祝い歌	5 その他の歌			
四 童歌	六一六						
五 三瓶音頭	六二七						
第六節 郷土の文芸	六二九						
1 かくれた歌人	2 好きな歌人	3 男性歌人	4 短歌雑誌「海燕」	5 俳句			
の流れ							
1 天文・気象	2 農業・漁業	3 保健・衛生	4 生活・自戒・覚え				
5 教育観・子育て	6 禁忌・迷信的なもの	7 冷笑・皮肉	8 その他				
第七節 方言	六四四						
第八節 ことわざ	六六七						

第二章 文化・観光

第一節 文化財

一 指定文化財

1町指定の文化財 2県指定の文化財 3指定解除になつた文化財

二 その他の文化財

1重要とみられる文化財 2郷土展出品一覧

第二節 観光

一 観光資源の現状

1観光案内図 2交通 3郷土料理 4名産・おみやげ品 5釣り

6秋祭り 7三瓶町ふるさとみち

二 観光三瓶

1須崎観音 2高島とその周辺 3周木海水浴場 4福島 5大崎鼻
の灯台と周辺海岸 6三瓶公園 7三十峰 8螺岳 9池成・テレビ
塔 10蔵王公園

三 観光推進

七二一

第五編 人物

野田広足 多々良良碩（号杏齋） 朝雲獨善維精 伊藤
正明 朝井トワ 菅原小楯（通称主膳） 飯田九臘

井上伊助	大塚雅賢	伊藤正順	朝井猪太郎	菊
池俊逸	笛田省三	三好甚三郎（二代目）	朝井嘉平	
菊池武範	三好牧太郎	田中文治	長井音次郎	
三瀬豊三郎	井上平太郎	井上古作	浜田愛太郎	
宇都宮古太郎	鶴嶺瑚山（別名平十郎）	宇都宮政市		
久保田福太郎	曾我 鍛（号正堂）	宮本延近	宇都宮	
百太郎	菊池武虎（号竹風）	清水嘉芽太郎	三好盛太	
郎 佐海健治	和田清治	仲村仁平	藤田富士松	
菊池慎三	宇都宮重太郎	佐藤 茂	久田駒之助	
井上幸恵	宮内牧太郎	細川 一（旧姓岡）	吉岡惣右	
衛門 二宮温次	三好澄男	菊池友一	井上庄一	
宇都宮義信	朝井菊快	佐々木進	片山惣之丞	
宗方櫻甫				